



写真:硫黄山から見た韓国岳 (撮影:平成24年9月1日)

「水辺とトンボ」

自然のままの河川や湖が点在するえびの高原は、トンボなど水辺を必要とする生物にとって貴重な生息地となっています。

お盆が過ぎ、厳しい夏の暑さもひと山越えたようです。風に乗ってたくさんトンボが飛び交っています。自然のままの河川や湖が点在するえびの高原は、トンボなど水辺を必要とする生物にとって貴重な生息地となっています。通称赤とんぼと呼ばれるアキアカネやネキトンボ、大きくて力強い動きのオニヤンマ、霧島山が分布の南限になっているオオルリボシヤンマ、金属的な光沢が目を引きタカネトンボなど、さまざまな種類のトンボに出会うことができます。

硫黄山から見た韓国岳の火口壁は大きく崩れています。これは韓国岳の噴火でできた爆裂火口です。雨の多い時期、窪地には、水が溜まって池ができます。名前のついていない池ですが、周囲の緑や花々を映してとてもきれいな場所です。

人工的な護岸のないえびの高原の澄み切った沢では、訪れた子どもたちが、魚の姿を探して橋からのぞき込んだり、足を浸したりしている風景をよく見かけます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

韓国岳爆裂火口

韓国岳北西部にある直径約500mの半円状の火口。約7,300年前以降に水蒸気噴火によって生じたものと考えられている。